

平成29年9月1日

各位

九州大学大学院農学研究院 生命機能科学部門
生物機能分子化学講座 蛋白質化学工学分野
准教授候補者選考委員会委員長
佐藤 匡央

九州大学大学院農学研究院 生命機能科学部門
生物機能分子化学講座 蛋白質化学工学分野
准教授候補者の推薦について（依頼）

拝啓

時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、本選考委員会は下記のとおり生命機能科学部門 生物機能分子化学講座 蛋白質化学工学分野 准教授候補者を公募することになりました。つきましては、適任者をご推薦くださいますようお願い申し上げます。

敬具

記

1. 職・人数

准教授・1名

2. 所属・専門分野

今回採用する准教授は、大学院農学研究院 生命機能科学部門 生物機能分子化学講座に所属し、大学院生物資源環境科学府 生命機能科学専攻 生物機能分子化学教育コースおよび農学部生物資源環境学科 応用生物科学コース応用生命化学分野担当教員となります。

生物機能分子化学講座は生物化学分野、水族生化学分野、海洋資源化学分野、生物物理化学分野、植物栄養学分野、蛋白質化学工学分野、農業薬剤化学分野、植物分子機能学分野の8研究分野で構成されており、農学・生命科学の分子的基盤である複雑な生命現象の発現と調節に係る機能素子の作用機構の解明、機能素子間の相互作用解明とその応用を目指した研究を推進しております。また、大学院生物資源環境科学府生命機能科学専攻の生物機能分子化学教育コースおよび農学部応用生物科学コース応用生命化学分野では、生命現象を分子レベルで理解し、それを人類に役立てる活動を推進しうる人材を組織的に養成する教育を進めています。

蛋白質化学工学分野は、ポストゲノム時代の重要領域の一つである蛋白質科学において、その基礎と応用の両面を担っており、遺伝情報維持と伝達に係る蛋白質を主な材料として、蛋白質の構造と機能解析、蛋白質の分子認識機構解析と、それらの基礎研究を産業的有用蛋白質の創製に繋げるための研究、さらには、環境中の遺伝子資源から遺伝子工学技術開発にとって有用なDNA関連酵素を開発するための研究と教育を担当しています。

今回採用する准教授としては、最先端の蛋白質化学的手法を用いて

1) 生命のゲノム安定性維持機構に関する蛋白質化学工学的研究

2) DNA 関連酵素の基礎化学と遺伝子工学技術開発を目指した応用研究

3) 環境中のアーキアとそのウイルスを遺伝子資源とする蛋白質化学工学的研究を推進するために、この分野における卓越した研究業績を有し、かつ旺盛な研究発信力と国際的な研究活動を推進できる能力を有する方、さらに基礎分子生物学、基礎蛋白質化学とその応用の遺伝子工学、蛋白質工学について先進的教育を推進しよう方を求めています。

3. 採用予定時期

教授会承認後可能な限り早い時期

4. 応募資格

博士の学位を有するとともに、上記の領域において優れた業績と該博な識見を有し、学部および大学院担当教員として学生の教育や研究指導に熱意をもって取り組む方

5. 担当授業科目

(1) 大学院

・大学院修士課程

(生命機能科学専攻 生物機能分子化学教育コース)

蛋白質化学特論(分担)、ゲノム安定性維持機構特論(分担)、生物機能分子化学プロジェクト演習(分担)、生物機能分子化学特別研究第一、同第二等

(国際開発研究特別コース)

修士論文研究 I, 同 II, 特別演習 I, 同 II, 同 III, 生物機能分子化学特論(分担)等

・大学院博士後期課程

(生命機能科学専攻 生物機能分子化学教育コース)

生物機能分子化学特別実験、生物機能分子化学特別講究、生物機能分子化学特別演習、国際演示技法、ティーチング演習、プロジェクト演習、インターンシップ等

(2) 学部

(応用生物科学コース 応用生命化学分野)

分子遺伝情報学(分担)、生物解析・機器分析法(分担)、生物化学各論 I(分担)、同 II(分担)、微生物学基礎実験(分担)、物理化学実験(分担)、卒業研究、科学英語(分担)、応用生命化学発展実験(分担)、同位元素実験(分担)、分子細胞生物学(分担)、バイオテクノロジー詳論(分担)等

(国際コース)

Molecular Biology(分担)、Microbiology(分担)等

(担当可能な基幹教育科目)

基幹教育セミナー、課題協学科目等

注：新任の准教授には必ず英語での講義を担当していただきます

6. 提出書類

(1) 略歴書

(2) 業績目録

・原著論文：著者名、題名、掲載雑誌名、巻、号、頁、発行年

(i) 査読付雑誌（掲載雑誌の IF を記載のこと）、(ii) 査読なし雑誌、(iii) 国際学会プロシーディングス、(iv) その他、で区分すること

- ・総説・解説等：著者名，題名，掲載雑誌名，巻，号，頁，発行年
- ・著書：著者名，題名，発行所，発行年
- ・特許出願：出願特許名，発明者名，出願番号（登録されている場合は登録番号），出願人
- ・その他：特記すべき事項（国内および国際学会活動実績，招待講演，受賞歴等）
注：原著および総説論文には，応募者にアンダーライン，論文責任者に*を附すこと

(3) 主要論文の別刷り又はその写し（5編以内）

(4) これまでの研究の概要と今後の研究に対する抱負（1,000字程度）

(5) これまでの教育の実績と今後の教育に対する抱負（1,000字程度）

(6) 競争的外部資金導入実績（最近10年間，科研費を含む全ての外部資金および所属機関内の競争的資金，名称，期間，金額，代表・分担の別を記す）

(7) 推薦書

自薦の場合：自薦書および応募者の教育・研究等について問い合わせのできる方
2名の氏名および連絡先

他薦の場合：推薦書（1通）

7. 面接等

審査の過程で面接を行う場合があります。その際の旅費・滞在費は応募者の自己負担と致します。

8. 提出締切

平成29年10月2日（月）必着

9. 提出書類の送付先

〒812-8581 福岡県福岡市東区箱崎6-10-1
九州大学箱崎地区 農学部4号館611号室（食料化学工学講座事務室）
九州大学大学院農学研究院 生命機能科学部門食料化学工学講座
蛋白質化学工学分野准教授候補者選考委員会委員長
佐藤 匡央（食料化学工学講座・教授）

電話：092-642-2818

E-mail：masaos@agr.kyushu-u.ac.jp

書類は書留またはそれに準ずる方法で提出のこと

10. その他

- (1) 九州大学では，男女共同参画社会基本法（平成11年法律第78号）の精神に則り，教員の選考を行います。
- (2) 九州大学では「障害者基本法（昭和45年法律第84号）」、「障害者の雇用の促進等に関する法律（昭和35年法律第123号）」及び「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律（平成25年法律第65号）」の趣旨に則り，教員の選考を行います。
- (3) 本研究院，学府，学部等の教育研究概要等は，ホームページ（<http://www.agr.kyushu-u.ac.jp>）を参照してください。

- (4) 送付された資料は返却いたしません。選考以外の目的には使用しません。
- (5) 給与等についての問い合わせ先：
九州大学農学部庶務係（電話：092-642-2802）